

IRミーティング

2011年3月期 第2四半期決算概要

科研製薬株式会社

2010年11月8日

注意事項

- 本説明資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。
- 新薬が発売されるまでには、多額の資金と長い開発期間が必要となります。有効性と安全性を確認しながら慎重に開発を進めていくうちには、開発中止となる可能性があります。
- 「開発テーマの状況」は、現時点の開発計画に基づいて作成しております。開発計画の進行に伴い、変更等が発生する可能性があります。

2011年3月期 第2四半期損益実績(連結)

(百万円未満切捨)	2010年3月期 4-9月実績	2011年3月期 4-9月実績	増減	前年比 (%)
売上高	42,342	42,872	529	101.3
営業利益	6,064	7,328	1,263	120.8
経常利益	5,806	7,103	1,296	122.3
第2四半期 純利益	3,516	4,241	724	120.6

- 6%台後半の薬価引き下げの影響を吸収して増収増益を確保

- アルツ、セプラフィルムが順調に伸長し増収に寄与

- 原価率の改善、販管費の圧縮により増益を確保

- 販管費:14,036百万円
対前同 343百万円の減少

- 研究開発費:3,633百万円
対前同 360百万円の減少

- 中間配当は18円(3円増配)

連結貸借対照表の推移

借方

貸方

(百万円未満切捨)

	2010年 3月期末	2010年 9月末	増減		2010年 3月期末	2010年 9月末	増減
流動資産	56,824	56,702	▲121	流動負債	28,858	31,881	3,023
固定資産	38,272	39,736	1,463	固定負債	6,662	6,670	8
資産合計	95,096	96,438	1,342	負債合計	35,521	38,552	3,031
				純資産合計	59,575	57,885	▲1,689

主な内容 (百万円未満切捨)

◆資産 現金及び現金同等物：15,717百万円

◆負債 有利子負債：8,510百万円

◆純資産 利益剰余金：31,483百万円 (+ 2,799百万円)

自己株式：2010年9月末保有株式数 10,262千株 (+ 4,524千株)

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)	2010年3月期 4-9月実績	2011年3月期 4-9月実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,023	6,235
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,483	▲2,524
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲684	▲5,498
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,412	15,717

- ※ 営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前四半期純利益: 6,994百万円 (前同: 5,829百万円)
- ※ 投資活動によるキャッシュ・フロー
理化学研究所 跡地の取得
- ※ 財務活動によるキャッシュ・フロー
自己株式取得額: 4,059百万円
配当金支払額: 1,438百万円

売上内訳(連結)

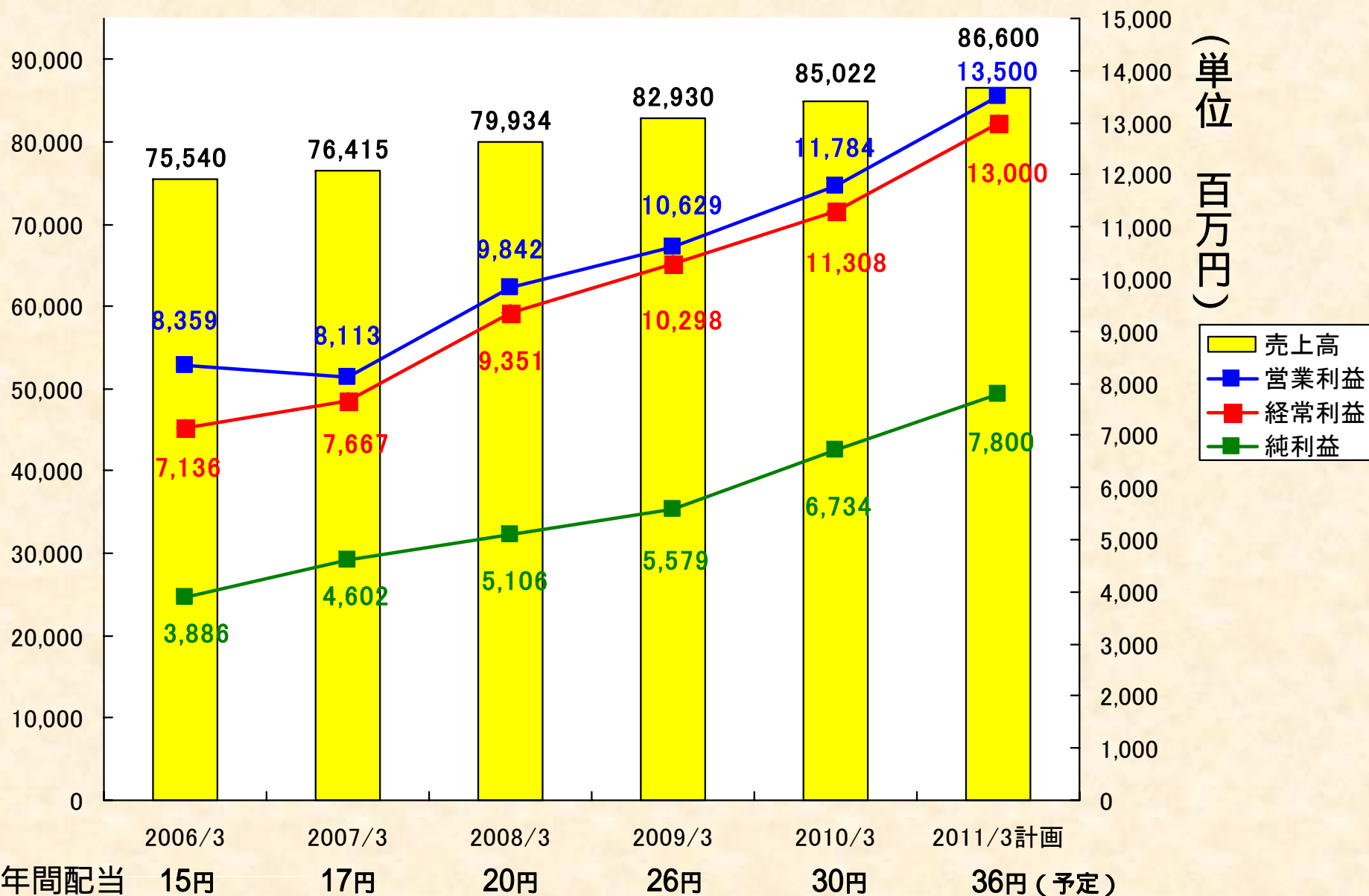
(百万円未満切捨)	2010年3月期 4-9月実績	2011年3月期 4-9月実績	増減	前年比 (%)
医療用医薬品・医療機器	37,470	38,256	785	102.1
農業薬品	1,596	1,395	▲201	87.4
不動産賃貸料	1,231	1,218	▲12	98.9
その他	2,044	2,002	▲41	98.0
合計	42,342	42,872	529	101.3

医薬品・医療機器の売上実績内訳

(百万円未満切捨)	2010年 3月期 4-9月実績	2011年 3月期 4-9月実績	前年比 (%)
アルツ	15,444	15,827	102.5
セプラフィルム	4,261	4,646	109.0
アドフィード等	4,572	4,190	91.6
プロサイリン	3,474	3,032	87.3
フィブラストスプレー	1,953	1,949	99.8
リピディル	2,139	1,994	93.2
エブランチル	1,032	1,039	100.6
メンタックス	809	680	84.1
ジェネリック医薬品計	3,260	3,677	112.8

- ・アルツ
DTC活動を継続し、売上が順調に伸長
- ・セプラフィルム
外科での消化器がん、産婦人科での帝王切開および婦人科がんへの使用拡大により伸長
- ・ジェネリック医薬品
アムロジピンをはじめ、既存の製品が順調に伸長

業績推移(連結)



開発テーマの状況

	開発コード	適応症	開発段階	上市予定 (年)	備考
※ 1	KCB-1D	歯周病	申請準備中	2012	bFGF
2	KP-103 (IDP-108)	爪白癬	PⅢ	2013	外用剤 国際共同治験
3	KCB-1B	骨折	PⅡ終了 次相準備中		bFGF
※ 4	KP-413	アトピー性皮膚炎	PⅠ／Ⅱ終了		外用剤 米国治験 結果解析中
5	TRK-100STP	腰部脊柱管狭窄症	PⅡ	2016	東レ社と共同開発 ベラプロストナトリウム徐放製剤 適応拡大

※: 前回ミーティングから変更のあったもの

2011年3月期損益計画(連結)

(百万円未満切捨)	2010年 3月期 実績	2011年 3月期 修正計画	増減	前年比 (%)
売上高	85,022	86,600	1,578	101.9
営業利益	11,784	13,500	1,716	114.6
経常利益	11,308	13,000	1,692	115.0
当期純利益	6,734	7,800	1,066	115.8

■増収・増益・増配を継続

■当初計画を修正

売上高:+100百万円

営業利益:+900百万円

経常利益:+1,000百万円

当期純利益:+500百万円

■期末配当は18円(3円増配)とし、年間36円(6円増配)を予定

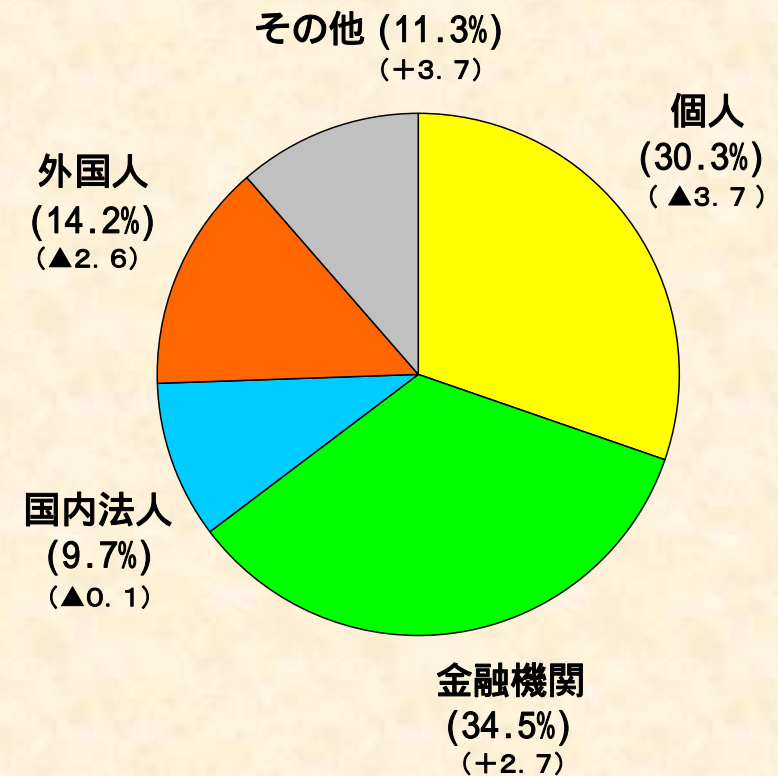
医薬品・医療機器の売上計画内訳

(百万円未満切捨)	2010年 3月期 実績	2011年 3月期 計画	前年比 (%)
アルツ	30,235	31,200	103.2
セプラフィルム	8,515	9,300	109.2
アドフィード等	8,734	8,500	97.3
プロサイリン	6,721	6,100	90.8
フィブラストスプレー	3,887	4,100	105.5
リピディル	4,229	3,900	92.2
エブランチル	2,069	2,000	96.7
メンタックス	1,281	1,100	85.9
ジェネリック医薬品計	6,785	8,000	117.9

- **アルツ:**
疾患啓発活動を継続し、市場の更なる開拓を目指す
- **アドフィード等:**
「ヤクバン60mg」および「アドフィード80mg」の市場への浸透を図る
- **セプラフィルム:**
消化器外科、産婦人科へのディテール数を増やし、売上高100億円を目指す
- **フィブラストスプレー:**
皮膚科、形成外科、救命救急の更なる普及を図る
- **ジェネリック医薬品:**
11月に発売予定の新製品と既存品の伸びにより飛躍を目指す

大株主一覽表(2010年9月末)

	会社名または氏名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
1	日本スタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,405	5.3%
2	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	5,187	5.1%
3	東レ株式会社	4,589	4.5%
4	株式会社みずほ銀行	4,086	4.0%
5	農林中央金庫	3,686	3.6%
6	日本生命保険相互会社	1,700	1.7%
7	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,612	1.6%
8	科研製薬従業員持株会	1,602	1.6%
9	株式会社損害保険ジャパン	1,343	1.3%
10	共栄火災海上保険株式会社	1,248	1.2%



※自己株式数: 10,262千株